

市長選挙で変わった議会バランス

市長選挙 2008年11月30日

当 14,551 横田修一郎 61 無新
 13,343 古川隆三郎 52 無新
 当日有権者数は40012人（男18179、女21833）
 投票率は70.19%（男69.62、女70.67）で
 前回の74.24%を下回った。

4期16年吉岡庭二郎前市長引退後の市長選挙は、上のような結果だった。安藤幽明氏が無投票で市議補欠選を制した（11/23告示日に確定）。安藤氏は前回自民党で出馬したが、今回は無所属。

これまで古川氏の属する庶民の会は3名とも無所属ながら、自民系連合会派を構成していたため、市政同志会（北浦議長）を入れて13名の安定多数を維持していたわけだ。

古川議員辞職のあと、庶民の会2名はしばらく北浦議長（市政同志会）と合流し3名会派を維持。しかし市長選挙では、種村・林田・馬渡の3氏が古川陣営につき、他の自民系連合会派は横田陣営についた。

そして、横田氏が新市長となった今、選挙の支持がそのままであれば、島原市議会の最大会派は相変わらず市長与党ということになる。

そして選挙後、種村・林田両氏は北浦議長と別れ、自民系連合会派を抜けた。自民系連合会派は10名となった。

安藤議員カムバック後の動きは微妙。これまでの流れであれば、自民に復帰か？。

23名議会において10名は安定多数ではない。

馬場 勝郎	自	平成会
本多 秀樹	無	平成会
濱崎 清志	自	平成会
本田 順也	自	新風会
島内 俊光	無	新風会
大場 博文	自	新風会
山本 由夫	無	新緑クラブ
永田 光臣	無	新緑クラブ
酒井美代子	無	新緑クラブ
北浦 守金	自	市政同志会
種村 繁徳	無	庶民の会
林田 勉	無	庶民の会
馬渡 光春	無	庶民クラブ
中川 忠則	無	チーム中川
園田 智也	無	改革半島
松井 大助	無	眉山クラブ
山下 博正	無	眉山クラブ
松坂 昌應	無	改革クラブ
清水 宏	無	凡人くらぶ
松本 匠	社	社会民主党
島田 一徳	共	日本共産党
永尾 邦忠	公	公明党
安藤 幽明	無	真政の会

9人が20人定数を目指す。新勢力になるか？

塗り替えられた勢力図の中で、右上二つ目の枠の9人が集結した。正月をまたいだ12月議会のさ中、最初は秘密で集まった。市議会を牛耳る自民系連合会派に対抗してまずは政策研究会からスタートしようというわけだ。

横田市長が自らの報酬20%削減を出してきたから、議会も動かなければならない。20人定数を出そう。3ヶ月前には時期尚早と書いていたくせに、時機到来というわけだ。チャンチャラおかしいと突っぱねても良かったが、20人定数問題なら、自民連合も党議拘束はかけられない

はず。同調者を引き抜いて一気に攻勢に転じよう。呉越同舟の感もあるが、相乗りした。

さっそく条例案を準備して、中川議員を提出者にして9人がサインをした。一気に最終日で議決しようと、議案は提出された。

間髪をいれず、自民連合から、21人定数議案が、議員報酬5%カット案と合わせて提出された。こちらの動きは察知されていたわけだ。

出来レースなのか冗談なのか自民連合はよくもまあこんな理不尽な条例案が提出できたものだ。（次ページに続く）